重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）	子どもたちに環境教育がきちんとされている	
施策名	子どもへ環境教育を推進する	No.20

年度	平成27年度
責任部長	環境部長
主担当課長	環境保全課長
関係課	公園緑地課、清掃対策課、施設管理課

1. まちづくり指標の現状

まちづくり指標		指標のめざす方向	現状値	実績値					目標値
			H18	H20	H21	H22	H23	H24	5年後
			H24	H25	H26	H27	H28	H29	10年後
環境に優しい生活を心がけていると思う小中学生の割合（%）		↗	72.7	79.7	79.2	82.1	78.8	82.7	79.4
			82.7	83.9	85.6	86.6			85.5
環境に優しい生活を心がけている家族だと思う小中学生の割合（%）		↗	69.6	78.8	80.1	78.2	79.9	84.1	76.8
			84.1	85.2	87.0	85.3			85.0
子ども向け環境イベントや環境学習プログラムの参加者数	①いちのみやエコスクール運動事業参加校数（校）	↗	53	61	61	61	61	61	61
			61	61	61	61			61
	②環境イベントや環境学習プログラム参加者数（人）		460	658	647	636	1,056	3,663	915
			3,663	1,727	1,898	1,124			3,800

2. 外的要因（世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等）

環境の現状について正しい認識を持ち、環境保全に関して担うべき役割と環境保全に参加する意義を理解し、それぞれの立場に応じた役割分担の下、自主的、積極的な取組が求められている。また、平成26年11月にESDユネスコ世界会議が開催され、環境教育に対する機運が高まってきている。

3. めざすべき姿に対する現状評価（まちづくり指標や外的要因等からの評価）

現状評価	A 改善傾向	「環境イベントや環境学習プログラム参加者数」は、目標達成のためには今後、環境学習プログラムなどのさらなる充実を図るとともに、引き続き小中学校や保育園・幼稚園に協力を呼びかけていく必要がある。他の指標については、いずれも目標値に到達しており、全体としてはめざすべき姿に向かって順調に推移している。

評価がB・Cの場

4. 事務事業群に対する評価（行政活動の評価）

長期成果（事業群①）	長期成果（事業群②）	長期成果（事業群③）	長期成果（事業群④）

評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の一歩手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。
評価	
次年度の改善計画	

＊＊＊